

プログラムノート

プログラム

モーツァルト W.A.Mozart	ピアノソナタ第11番イ長調K.331「トルコ行進曲付き」 <i>Klaviersonate Nr.11 A-dur K.331</i> I Andante Grazioso II Menuetto III Alla Turca Allegretto
ショパン F.Chopin	幻想ポロネーズ変イ長調作品61 <i>Polonaise-Fantasia As-dur op.61</i>
～ 休憩 ～	
メシアン O.Messiaen	みどり児に捧ぐ20のまなざしより <i>Vingt Regards sur l'Enfant-Jésus</i> 星のまなざし <i>Regards de l'étoile</i> クリスマス <i>Noël</i>
シューマン R.Schumann	クライスレリアーナ「8つの幻想曲」作品16 <i>Kreisleriana op.16</i>

朝井 大 ASAI Dai 《ピアノ》

- 1999年 愛知県立芸術大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻首席卒業
桑原賞受賞。
- 2002年 同大学大学院音楽研究科ピアノ専攻修了。
- 1999年 第3回碧南市新人演奏家コンサート、第21回中部読売新人
演奏会に出演。第2回長江杯国際音楽コンクール第2位。
- 2000年 第1回長野国際音楽コンクールピアノ一般の部第3位。
- 2001年 第11回全日本ソリストコンテスト奨励賞。
- 2002年 第6回レ・スプレンドル音楽コンクール第4位。
4月よりドイツ国立ドルトムント音楽大学に留学。
- 2003年 第13回イタリア、バルレッタ市国際音楽コンクール第1位。
- 2004年 第7回フランス、ニコライ・ルービンシュタイン国際音楽コン
クール第1位。
- 現在、ドイツ国立エッセン・フォルクヴァング音楽大学大学院国家演
奏資格取得コースに在籍中。アルヌルフ・フォン・アルニム氏に師事。
これまでに、河津めぐみ、松野稀一、八重口敬子、D・ヨッフエ、故H・
ミルヴィス、V・サハロフ、R・ケラーの各氏に師事。



- モーツァルト (1756-1791) ピアノソナタ第11番イ長調K.331「トルコ行進曲付き」
このソナタは、全ピアノソナタ、もしくは全作品の中で一番有名な曲、誰もが口ずさむ
ことができるメロディーをもっているソナタで、パリで作曲された可能性が以前は高いと
されていましたが、近年の研究では、パリで彼が書いた手紙の内容からどうやらザルツブ
ルグで作曲された可能性のほうが高くなってきているようです。
さて、この曲を勉強始めて、なぜ「トルコ行進曲」と3楽章に題がついているのか、と
いう疑問が湧いてきました。当時のオーストリアはトルコ軍の攻勢によりウィーンまで攻
められていたようで、「トルコ行進曲」にはそのトルコの楽器をイメージした装飾音によ
る音形が見られます。そして、そのソナタ形式を破った1楽章の変奏曲と共に名作として
知られています。

- ショパン(1810-1849) 幻想ポロネーズ変イ長調作品61
ポーランドに生まれフランスで人生の大半を過ごしたショパンは母国ポーランドの音楽
を多数作曲しました。マズルカとポロネーズがそれで、その民族的なリズムと響きはとて
も素晴らしいものがあります。この幻想ポロネーズは後期の作品で天に昇っていくような
序奏で始まり、それまでのポロネーズとは全く違う書法で作曲されています。その大規模
で型破りの書法で彼の最高傑作の中に入っています。

◆ 休憩 ～ドイツよりクリスマスのお菓子～ ◆

ドイツでは9月になるとスーパー等ではクリスマス用のお菓子の販売が始まります。そ
して、日に日にクリスマスの装飾が街角を飾り、クリスマス市が始まるころには国中でク
リスマスで埋め屈されています。さて、休憩の間にドイツからのクリスマスのお菓子をお
楽しみください。

- メシアン(1908-1992) 「みどり児に捧ぐ20のまなざし」より
メシアンは1908年に生まれ1992年に亡くなったフランスを代表する作曲家で、
カトリック教徒であったため、カトリック信仰を題材にした曲が目立ち、そして、「音を
聴くと対応した色が見える」という特質な体質を持っていたため色彩感覚豊かな作品も多
いのが特徴です。
さて、「みどり児に捧ぐ20のまなざし」は4つの主題(1)「神の主題」(2)「神秘の愛の
主題」(3)「星と十字架の主題」(4)「和音の主題」から様々な変奏と音形を用いてお
り、今回演奏する「星のまなざし」は「星と十字架の主題」、「ノエル(降誕祭・クリ
スマス)」は「和音の主題」を用いています。

- シューマン(1810-1856) クライスレリアーナ「8つの幻想曲」作品16
この曲は1. 最高に激しい動きをもって、2. 非常に内面的に、遅すぎずに、3. 非常
に激しく、4. 大変ゆっくりと、5. とても生き生きと、6. 大変ゆっくりと、7. 非常に
速く、8. 非常に戯れるように、という8つの幻想曲からできています。文学が音楽に深
く影響するようになった彼の時代での最高傑作と言われるこの曲はショパンに献呈されて
います。彼の作品の多くは初版と改訂版があり、初版では改訂版よりもシューマンらしさ
がみられるのが興味深いところです。(例外として交響的練習曲では改訂版のほうが簡潔
でまとまっていますが・・・) クララ・シューマンに出会う前のシューマンは多くの新し
い試みを残していますが、クララに出会った後、彼女の影響でその新しい試みを古典的に
書き直してしまっているのです。今回は初版を多く取り入れて演奏させていただきます。